



スポーツから広がる交流の輪

～射水市・千曲市(長野)BJリーグ観戦交流～



※ 3 ページ目に記事掲載

Contents

2p

●先月の事業 Pick up●
**新湊近未来構想
実行委員会が発足**

新議員紹介
新しく就職した若人のつどい
射水市・千曲市BJリーグ観戦交流
主な今後の動き～イベント情報～

4p

●青年部だより●
「一致団結」
～創造と実行をつなぐ架け橋へ～

●女性会だより●
平成25年度通常総会の開催

5p

●S E R I E S ●
快進撃企業に学べ
「創業以来43年黒字経営を続ける
『昭和測器』」
トレンド通信
「『3:4:3』を生かすモノづくり、
人づくり」

6p

●インフォメーション●
金融関係
平成25年度労働保険年度更新
お忘れなく！
～受講生募集～語学講座
射水市観光協会からのお知らせ
本所会費納入のお願い
富山県からのお知らせ
高岡法人会からのお知らせ
田植え時期の繰り下げに伴う
休暇取得へのご配慮のお願い

8p

●キラリしんみなど●
株式会社 シマダ 蠟燭
代表取締役 島田 友義 氏

先月の事業 pickup

新湊近未来構想実行委員会が発足 ～「提言書」の実現化に向けて動き出す～



新湊近未来構想実行委員会（統括・実行委員長：八嶋祐太郎）の初会合が、4月11日（木）に本所で開催され、委員など約40名が出席しました。

始めに牧田会頭が、「これまでは提言書を一方的に提出するだけであったが、経済団体と行政が一緒にやることで、その力を結集し、実現化に向けて動き出したい」と挨拶。

同実行委員会は、昨年9月に射水市に提出した提言書「新湊近未来構想－わがまちへの提言」の実現化に向け設立されたもので、委員には本所議員・会員のほか、射水市からも幹部職員が加わり、分野ごとの4つのプロジェクトチームに分け、担当する提言の実現性や今後の運営方法について協議を行いました。同構想（左記）は、人・物・金・情報が活発にまちを循環するための、概ね5年から10年の期間で実現可能な内容であることをキーワードに作成した19の項目からなるもので、既に射水市において予算化されたものもあり、今後は八嶋実行委員長と各プロジェクト委員長のものと、各提言の実施主体や予算の捻出方法、実施時期など、その実現性を判断し、半年後完成を目標に、実行計画書の策定を行うこととなりました。

今回の提言が、一つでも多く実現し、地域活性化の起爆剤となることが期待されます。

チーム	提言名
プロジェクトA 委員長 鷺北昭雄	新湊庁舎跡地の整備と周辺開発
	宿泊施設の立地可能性調査の実施
	内川周辺の景観の整備保全と観光産業の育成支援
	公共交通体系の整備再編の推進
プロジェクトB 委員長 三箇洋	新湊おもちゃ美術館の誘致並びに建設支援
	新湊 T シャツアート ブランド化作戦への支援助成
	着地型旅行推進策への支援助成と関係機関との連携強化
	県営渡し船（越の渦フェリー）の存続と活用（意向調査の実施と対処）
プロジェクトC 委員長 米田秀樹	給料が増える企業を応援する街づくりの実施
	射水のB級グルメ決定戦への支援助成
	（仮称）市立魚職人修練所－新湊お魚学校の設立
プロジェクトD 委員長 八嶋祐太郎	（仮称）射水市中小企業振興基本条例の制定
	（仮称）人口増政策課の設置
	いみずTOYP大賞（仮称）の創設<活躍する射水の若者大賞>
	社会貢献マイレージ制度の創設
	いみず TOYC Award（仮称）への支援助成<射水の傑出する若い創造企業を顕彰しよう>
	共生に向けた子育て・高齢者施策の推進
しんみなと歴史ヒストリア構想の推進	

新 議 員 紹 介

4月1日付

1号議員



石黒 浩之 氏

（株）富山第一銀行新湊支店
支店長
（前任）松田圭司 氏

4月1日付

1号議員



小松 与志郎 氏

（株）北國銀行 新湊支店
支店長
（前任）谷口 進 氏

**4/25 市内新入社員が
社会人の心構えを学ぶ**



4月25日(木)、アイザック小杉文化ホール ラ・ポールで、射水市雇用対策推進協議会(金原会長:本所副会頭)の主催により、「新しく就職した若人のつどい」が開催されました。

市内22事業所、67名の新入社員が参加し、午前の研修では、挨拶、電話対応などのビジネスマナーの基礎を学び、午後の研修では、「10年後の私と射水市」をテーマに、新しい会議手法「ワールドカフェ」を使ったグループディスカッション形式の研修が行われました。

**4/28 射水・千曲両市両経済団体による
BJリーグ観戦交流事業**



本所は、交流観光事業の一環として、友好提携を結んでいる千曲商工会議所の協力の下、BJ観戦交流事業を実施しました。

同事業は、昨年12月に本市で開催されたBJリーグ(プロバスケットボール)公式戦「富山グラウジーズVS信州ブレイブウォリアーズ」に、同ウォリアーズの本拠地がある千曲市より多く市民が来場されたことから、今回千曲市での開催を契機に、姉妹都市提携を結んでいる射水・千曲両市の人的交流を通じた文化・経済の活性化と振興に結びつけるべく、今回初めて企画しました。

当日は、両市の市長・市議会議長、両商工会議所の会頭を始め関係者約50人が参加し、観戦交流のほか交流懇親会も開催され、今後の両地域の更なる交流と活性化を誓い合いました。

**予定 主な今後の動き
イベント情報**

<会議所> 主な今後の動き	
5/5 日	城端曳山祭
5/7 火	ソウル・釜山ポートセールス訪問団派遣(9日まで)
5/8 水	富山県中小企業共済(協) 中小企業共済運営委員会
5/9 木	射水圏政経懇話会役員会 新湊近未来構想「プロジェクトAチーム」
5/11 土	富山県商工会議所青年部連合会定時総会
5/13 月	「新湊大橋開通1周年」「あいの風プロムナード開通」記念イベント実行委員会設立総会
5/14 火	富山県警察官友の会通常総会 正副会頭・委員長との懇談・懇親会
5/16 木	正副会頭会議・役員連絡会議
5/17 金	全国労働保険事務組合連合会 富山支部通常総会
5/19 日	越中だいもん凧まつり
5/20 月	北陸新幹線建設促進富山県民協議会 合同決起大会
5/22 水	富山県立大学研究協力会総会
5/23 木	射水市観光協会理事会・定時総会
5/24 金	高岡社会保険委員会総会
5/27 月	小規模事業者経営改善資金審査会 新湊商店連合会通常総会
5/28 火	富山県商工会議所連合会専務理事会議 富山空港を発展させる会通常総会 富山県国際経済交流推進協議会定期総会 射水圏政経懇話会定時総会
5/30 木	富山県青色申告会連合会定例総会
5/31 金	富山新港港湾振興会役員会・講演会・総会
<新湊地区> イベント情報	
■海王丸パーク/海王バードパーク■ 問合せ先:伏木富山港・海王丸財団(TEL 82-5181)	
5/3 金	ちびっこ天国in海王丸パーク(~6日まで) カッター・セイリング教室
■高周波文化ホール■ 問合せ先:いみず野美術展実行委員会(TEL 55-2416)	
5/17 金	いみず野美術展実行委員会(~19日まで)

注) 上記は予定であり、都合により変更になる場合もございますのでご容赦ください。

青年部だより

「一致団結」～創造と実行をつなぐ架け橋へ～ 射水商工会議所青年部 第35回定時総会を開催



竹山会長挨拶

4月21日(日)第一イン新湊において、射水商工会議所青年部 第35回定時総会が開催され、平成24年度事業報告及び収支決算、平成25年度役員(案)、事業計画(案)及び収支予算(案)が承認されました。

総会では竹山実会長が「青年部メンバーが一致団結して、若手ならではの発想で地域を盛り上げたい」と抱負を述べました。

平成25年度の青年部役員は次の皆さんです。



平成25年度 青年部役員

会 長	竹 山 実 (タケヤマシャッター)
副 会 長	林 功 之 (オカノ自動車工場)
副 会 長	横 尾 宗 憲 (横尾建築)
副 会 長	前 川 博 和 (前川板金店)
総務広報委員長	関 原 範 之 (関原板金工業所)
YEG☆PR委員長	泉 田 淳 也 (有泉田自動車)
笑 ² 委員長	平 野 慎 悟 (有真木工業)

女性会だより

平成25年度 通常総会開催



▲来賓を迎え、会員40名が集った通常総会

4月18日(木)午後1時30分より、射水商工会議所において夏野市長、高橋市議会議長、牧田会頭、他多数のご来賓、会員40名が出席し平成25年度通常総会を開催しました。

総会では、木谷会長が、昨年11月に当女性会創立20周年記念事業を滞りなく行うことができたのも役員・会員皆様のご支援とご協力のおかげ。今年度よりまた新たなスタート、30周年にむけ今年も邁進していきたいと挨拶。その後、議案第1号：平成24年度事業報告及び収支決算報告承認の件 議案第2号：役員改選承認の件 議案第3号：平成25年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件についてそれぞれ審議され、異議なく承認されました。新副会長に穴田圭子、土屋美智子、荒木日出子さん。新理事には、米田恵子、小杉奈津子、鶴川美子、中瀬京子さんがそれぞれ選任されました。役員任期は平成25年4月から平成27年3月。

総会終了後、市政出前講座より射水市民病院リハビリテーション科 主査 真木三次氏による「肩、腰、膝の痛みを和らげる」～生涯現役で健康に過ごすには～と題して記念講演会を開催しました。



挨拶する木谷会長



「創業以来 43 年黒字経営を続ける『昭和測器』」

東京の神田和泉町にユニークな経営で知られる中小企業がある。社名は「昭和測器」、工場は八王子、主事業は振動計測装置、振動監視装置の製造販売である。

従業員数は26人という小さな企業であるが、携帯型振動計の分野では、わが国の60%のシェアを有するトップ企業である。下請経営を嫌い、創業以来一貫して研究開発型企業の道を歩んでいる。ちなみに26人の内訳は、開発技術者が8人、営業技術者が8人と、全従業員の約60%が技術者である。

その業績もすこぶる良く、多くの企業が赤字経営に苦しむ中、同社の近年の売上高経常利益率はおおむね10～15%を維持している。そればかりか、ここ数年間で見ても、社員は夏・冬それぞれ2カ月分の賞与のほか、決算賞与が約1カ月分、なんと計5カ月分という。

こうした好業績を維持しているのは、次から次に社会的評価の高い新商品を世に提案してきたことなどもあるが、より重要な要因は、同社が掲げた経営理念と、それに基づく経営戦略、さらには

創業者である鶴飼俊吾社長の経営姿勢が、関係者の支持を得ているからである。

同社の経営理念は「社員とその家族、そして仕入先とお客様を大切にす会社」とある。プレまわっている会社が掲げる「株主第一主義」「成長第一主義」ではなく、同社は「社員第一主義」なのである。このため、創業以来43年間、社員とその家族や、仕入先の社員とその家族の命と生活を守る経営、つまり、景気や流行を一切追わず、じっくりと価値ある新商品開発に取り組んできたのである。

また、経営理念の最大の体現者である鶴飼社長の、この間の言動一致の経営姿勢も見事である。例えば、会社は「株主のもの、経営者のものではなく社員皆のもの」と宣言し、全員に入社1年目から株主になるチャンスを与え、ともに、隠し事の一切ない、超ガラス張り経営を貫いている。

そればかりか、同社では全員平等で、社長もタイムカードがあるばかりか、社長の交際費は実質ゼロ、加えてトイレの掃除当番までである。筆者はこれまで7000社近い中小企業を訪問調査しているが、社長にもトイレ掃除がある会社はそうざらにはない。

ともあれ、こういった社長の背中で示すリーダーシップに社員は感動し、顧客を感動させる価値ある商品を創ろうと努力してきたのである。

こうした元気な中小企業の存在を見せつけられると、問題の大半は「外ではなく内」、とりわけ経営者の心と背中にある、と言わざるを得ない。

法政大学大学院政策創造研究科
教授 坂本 光司



「『3 : 4 : 3』を生かすモノづくり、人づくり」

先日、大阪のお米屋さんから興味深い話を伺いました。「お米も農作物だから、どの地域のどの品種というだけで味が決まるものではありません。一枚の田んぼでも水の入り口と出口近くでは稲の生育状況は違います。ですからどんなお米でも3割は出来が良く、4割は普通、3割は実力が出し切れていないという比率です」。せっかくブランド米を買ってもたまたまさほど良くない3割に当たってしまった消費者は「それほどのものではない」と思ってしまい、それを売った「米屋は信用を失ってしまふ」。

こう語ってくれた藤井博章さんは、コーヒーや紅茶、ウイスキーなどと同じように「ブレンドで価値を作り出す」という道を選びました。単独では特徴のないお米同士でも、組み合わせによっては大きく性質が変わるといいます。例えば、堅く炊きあがるお米を2種類混ぜると、柔らかい炊きあがりになるといったことが珍しくないそうです。藤井さんは独自に工夫した炊飯器で、1968年以来45年間にわたってブレンドのデータを取り続けています。毎日9種類の組み合わせを試食し、

累計13万食以上のデータをノートに記録しています。そこで培ったブレンドの技で、産地の銘柄ではなく自分のブランドのお米を販売して、一般消費者だけでなく外食のお店からも高い評価を得ています。

ヒット商品を生み出すことを考えるとき、このエピソードには参考になるポイントが含まれていると思います。▼誰でも扱える「銘柄米」という価値ではなく、自分だけの「技」に価値を置くこと、▼自然に無理をさせない。原材料の仕入れに無理がない持続可能に価値を生み出せること、▼消費者が喜ぶ商品を作るために「素材」を言い訳にしないこと、▼カンや経験だけでなく、データに基づいて本当に良いものを追求すること、▼強いブランドといえども本当にその価値が全て消費者に届いているとは限らないこと、などです。

この「3 : 4 : 3」とブレンドの考え方は、モノづくりだけでなく「人づくり」にも通じると思います。ある組織の物差しではパツとしない人材でも、違う種類の人材と組み合わせると思わぬ力を発揮するのは、よくある話です。実は、今、大企業などの組織づくりで問題になっている「ダイバーシティ」はこうした考え方がベースにあります。多様な人材をうまく組み合わせた組織づくりです。

「単一、同質で高品質」という、これまでの日本が得意としてきたモノづくり、人づくりを見直す中に、新しいチャンスが隠れているのかもしれない。

日経BPヒット総合研究所 上席研究員
渡辺 和博

インフォメーション

金融関係

主な公的融資制度の利率

(平成25年5月1日現在)

資 金 名	利率(年)
日本政策金融公庫 (国民生活事業)	マル経融資 1.55%
	普通貸付注) 基準利率 1.85%
富 山 県	小口事業資金 2.00%
射 水 市	中小企業振興資金 2.00%

注)別に定める要件に該当する場合は、それぞれに定める特利が適用されます。

日本政策金融公庫
定例相談会

アドバイザー等	開催日時
高岡支店国民生活事業 ・小口の事業資金融資 ・創業支援・地域活性化支援 ・国の教育ローン、恩給・共済年金等を担保とする融資	5月21日(火) 13:00~15:00
富山支店中小企業事業 ・中小企業への長期事業資金の融資 ・国の中小企業政策に基づいた支援	5月23日(木) 13:00~15:00

相談会場 射水商工会議所 1階相談室

■ご利用の方は、相談所まで事前にご予約下さい。TEL 84-5110

平成25年度 労働保険
年度更新お忘れなく！

労働保険の「平成24年度確定保険料及び平成25年度概算保険料」について、申告納付の手続きをお願いします。

■更新期間■



*当会議所に労働保険事務委託されている事業所様へのお手続きは4月末に締め切りました。

受講生
募集!

語学講座

●射水商工会議所主催●

講座名	開催日時	初回
韓国語 (入門)	第2・4木曜 19:00~20:30	6/27

【場 所】射水商工会議所 2階会議室

【受講料】会員 4,000円

一般 8,000円

*テキスト代は別

【内 容】日常会話等を学びます。

【定 員】20人(全18回)

■申込み・問合せ先■

射水商工会議所 TEL84-5110

~射水市観光協会からのお知らせ~

射水市おすすめランチの店

(2013夏・秋版)参加店募集!!

目 的 射水市内にある飲食店のランチメニューを県内外に紹介し、市内への昼食利用者の誘客に努めるとともに観光推進の拡大を図ること。

参加条件 射水市内で昼食(ランチメニュー)を提供する店舗

パンフレットの仕様

A4カラー4ページ(参加店舗数による)

製作部数15,000部

参加(掲載)料・内容

1枠を「A4サイズの(1/16)」とし、参加店の希望による追加枠は下記のとおりとします。

掲 載 枠	1 枠	2 枠	3 枠	4 枠
掲 載 料	協会会員 2千円	4千円	5千円	6千円
(税込)	〃非会員 3千円	6千円	8千円	10千円
掲載条件	画像点数	1点	1~2	1~3
	メニュー	1品	1~2	1~3
共通掲載	店 舗 数	1店舗	1~2	1~3
	店舗名称、ランチ内容(メニュー名・金額・画像)、定休日、ランチタイム、TEL、住所			

参加をご希望の方は、本所HPから申込書・チラシ等をダウンロードいただけます。

<http://www.imizucci.jp/>

本所会費納入のお願い ～平成25年度～

新年度に入り、平成25年度会費納入時期をお知らせします。本所一同、経費の節減に努めながら日々精進して参りますので、なにとぞよろしくお願ひいたします。

■預金口座取扱の会員■

5月31日(金)に

ご指定の口座より振替させていただきます。

■振込み扱いの会員■

5月31日(金)までに振込み、

又は本所窓口にてご納入ください。

同封しました「会費のお願い」をご確認ください。振込につきましては各金融機関指定の振込用紙をご利用下さい。

なお、振込手数料のかからない『口座振替』へのご変更をお勧めいたします。

■問合せ先■

手続きなど詳細に関しては、下記までお問い合わせください。

射水商工会議所 担当：向田(むくた)

TEL 84-5110

～富山県からのお知らせ～

『知事のタウンミーティング』開催

2015年春に北陸新幹線(長野-富山・金沢間)が開業します。

間近に迫った北陸新幹線「富山県」開業に向けて県の方針や取組み状況など、知事がこのチャンスへの想いを語り、県民の皆さまのご意見をお伺いします。

■事前申込不要

■入場無料

■定員 200名

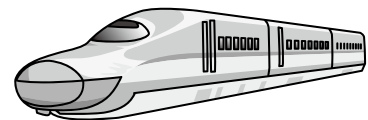
日時 平成25年5月26日(日)
午後1時30分～3時30分

会場 高岡市ふれあい福祉センター
多目的ホール
[高岡市博労本町4-1]

テーマ 北陸新幹線の開業に向けて

■問合せ

富山県広報課 TEL076-444-8909



共通返中

中小企業の退職金

国の制度が

サポートします。

● 中小企業退職金共済制度なら！

● 共済制度なら！

● 共済の一部を

● 国が助成します。

● 拠金は全額非課税。

● 手数料も不要です。

● 社外独立型なので管理が簡単です。

● パートタイマーさんも加入できます。

お気軽にお問い合わせください
(独)勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部
〒170-8055 東京都豊島区東池袋 1-24-1
TEL(03)6907-1234 FAX(03)5955-8211

公益社団法人 高岡法人会

総会記念講演会のご案内

- 日時 平成25年5月21日(火)
15:30～17:00
- 場所 高岡商工ビル 2F大ホール
- 講師 日本大学法学部教授
岩井 奉信 氏
- 演題 「混迷する政治の舞台裏」
- 入場無料 (事前に電話にて申込みお願いします)
- 申込・問合せ先
公益社団法人 高岡法人会
TEL 23-8855 FAX 26-1216

～射水市産業経済部などから～

田植え時期の繰り下げに伴う休暇取得へのご配慮のお願い

夏場の高温に対応した米の品質向上対策として

コシヒカリの田植え時期は5月15日を中心に！

- ◎ 従業員(兼業農家)の田植え目的の休暇取得に格段のご配慮をお願いします。



富山県JAいみず
野などからの要請
(4月17日)◀



このコーナーでは、世界で活躍する企業、オリジナル商品がすごい企業などキラリと輝く射水市のがんばる企業をご紹介します。

第13回は、(株)シマダ蠟燭です。3代目として下請けからの脱却に果敢に挑戦し、創造的革新を遂げた企業として、月刊誌『北陸経済研究』(2013.3)でも紹介されています。元々は商社マンとして活躍し、和ろうそく業界のことは全く知らなかったという3代目。自主廃業を考えていた2代目を説得し、事業継承後には売上を飛躍的に拡大することができたのはなぜか、今後目指す先にあるものは何か、3代目である代表取締役 島田友義氏にお話を伺いました。

東南アジア、未開発地域へ挑戦!

Q & A

Q. 廃業を目前にしながら、売上を拡大できたのは?

A. 和ろうそく業界のことを全く知らずに継承したことが結果的によかった。地方の中小企業の多くは、専門分野には特化していても、専門外のことには全くの無関心で、ビジネスの取りこぼしが多いように感じる。「努力を怠ってチャンスを逃すことはできない」と、お客様の仕事について理解と知識を深めるべく勉強した。何より、基本を身につけて自社の魅力や能力を多くの人に知ってもらうことが必要だった。チャンスが訪れ、「こんなもの作れる?」とお客様からいただいたきっかけを一つひとつ繋ぎ、大切に積み重ねていくことができたのだと思う。大阪で学んだ流通のノウハウを活かして、バブル崩壊後の産業構造の変化を商機と捉え、海外進出を果たしたことが現在の強みとなっている。

Q. 取り扱っている商品は?

A. 皆さんがご存知のものでは、お盆の時期に、スーパーなどにある「お墓参りセット」(ローソク・線香・マッチのセット)がある。北陸を中心に全国に出荷しており、県内では極めて高いシェアを頂いている。ものづくりは消費者目線で考える単純な発想からヒットにつながることが多い。「線香になかなか火がつかない」というお客様のニーズから先代が商品化した「着火剤付線香」は、考案当時(昭和40年頃)はほとんど市場に出ることはなかったが、平成に入って再度商品化しようと製造を始めた。これがヒットし、当初の経営を支えた。継承時から目指してきたのはローソクを中心とした総合企業であり、現在に至っては、文具から木工品、縫製、陶磁器など様々な葬祭用品を全国へ製造・出荷している。

Q. 今後の展望

A. 今後の20年を決定づけるために東南アジアへ挑戦することに決めた。現在検討している地域は、人脈がなければ中小企業が単独で進出することは難しい場所。単身、日本政府や大手商社のバックアップもない中で、交渉を進めていけるのはこれまで何より大切にしてきた“国を超えた人とのつながり”があるから。この財産が偶然にも活かされているのであり、恵まれた運に感謝している。海外進出の経験から肝に銘じているのは、契約や管理は丸投げにしない、全てにおいて自己責任だということ。反省を活かすならば、「先ず隗より始めよ」ということだと思う。

インタビューを終えて

「自分の代で終わりにする」と事業継承を諦める方が多い中、「和ろうそく業界は斜陽産業ではない」と事業を継ぎ、経営革新を進めた島田社長。その経済を見極める確かな目、リスクを厭わない確固たる信念、そして世界を相手に勝負する行動力は、現代の日本の希望の光です。どんな時代でも生き抜ける術は必ずある、正しい道を自身で見つけ突き進むのだと、勇気付けていただいた気持ちです。



▲利益が出る度、増築・増床を進めた倉庫(前方)と社屋(後方)

会社概要

社名	株式会社 シマダ蠟燭
所在地	(本社) 射水市青井谷841-1 (第二倉庫) 射水市本町3丁目6-3
設立	平成11年1月 (創業)昭和3年3月
代表者	代表取締役 島田 友義
事業内容	和ろうそく製造、線香、陶磁器、木製品、葬祭用品の製造卸売

掲載企業募集中

射水商工会議所 東海まで
TEL 84-5110

地元消費で、街を元気にしよう!

~楽しいお買い物は地元の店で~

地域の皆様に、地元新湊の商品・生産品が愛用され、育てていただくことが、豊かな地域づくりの根源です。